

- 守屋てるひこ市政活動報告 -

てるちゃんがいく

世界が憧れるまちに向かって



活動報告書

2022年8月発行

発行 編集

守屋てるひこ事務所

住所…小田原市荻窪三二七-一イセトヨビル2階
電話…0465439918

2 てるちゃんの取り組み 小田原がスマートシティ化!

総事業費 1億6,945万円

デジ田交付金に続く快挙!
スマートシティ推進事業に採択されました!

【スマートシティ】ってなに?

都市のかかえる問題について、デジタル技術を使って最適化を図れる都市のこと



スマートシティでできること

混雑情報を把握する
センサーの導入



観光・災害情報を
アプリや電子看板
で情報発信



移動をもっと楽に!
Maas の導入



Maas とは…交通手段を一つのサービスに統合し、経路検索から支払いまでを継ぎ目なくつなぐ概念

1 てるちゃんの取り組み

デジタル田園都市国家
構想推進交付金 採択額が

※以下「デジ田交付金」という

総事業費 4億1,958万円

全国市町村

1位に!

現在、事業者選定計画作り等の
作業を急ピッチで進めています!

【デジタル田園都市国家構想】ってなに?

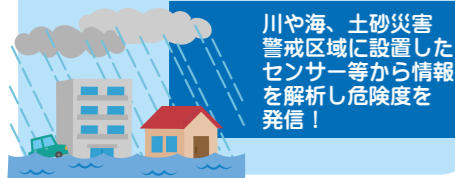
デジタル技術を活用して、地方を活性化し持続可能な
経済社会を目指すことです。



デジ田交付金事業でできること

【ゼロカーボン・デジタルタウン】

災害情報を詳しく!
早く!届ける!



川や海、土砂災害
警戒区域に設置した
センサー等から情報
を解析し危険度を
発信!

市役所で「書かない窓口」
待ち時間短縮!



スマホでできる
「AI事前申請サービス」
導入!

小田原デジタル
ミュージアム



小田原の歴史・文化財
をどこでも見ることが
可能に!

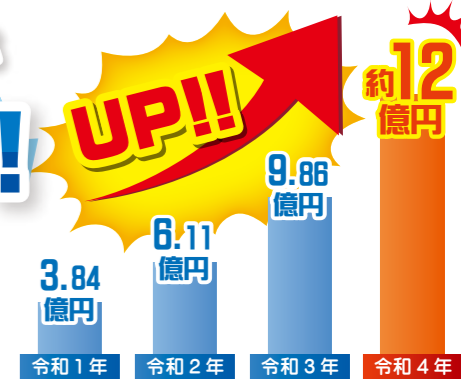
情報連携でもっと便利に!

デジ田交付金各事業 つながる スマートシティ事業

それぞれが連携することでこれまでできなかったこと不便なことが
デジタルの技術でどんどん可能になります!

3 てるちゃんの取り組み ふるさと納税寄付受入額が この4年で3倍の伸び!

返礼品掲載件数を580品に増加
新規事業者開拓と追加の継続



市長からのメッセージ

2020年(令和2年)5月に、第23代小田原市長に就任して、早くも任期の折り返しを迎え、3年目に突入いたしました。市長に就任した時が、新型コロナウイルスの最初の緊急事態宣言中であり、今もなお、収束の気配が見えない中で、市政の最重要課題は、依然としてコロナ対策であります。

この間、「生活者を守る」、「事業者を守る」、「教育を守る」、「地域医療を守る」、をコロナ対策の4本柱に掲げて対策を講じてまいりました。

その一方で、将来への道標もしっかりつくってまいりました。2021年3月には、市政の最重要課題にテーマを絞って、2030ロードマップを策定いたしました。それを発展させる形で、今年度をスタートとし、2030年までを計画期間とする、第6次小田原市総合計画「2030ロードマップ1.0」をスタートさせました。計画の根幹は、「豊かな環境の継承」、「生活の質の向上」、「地域経済の好循環」です。それを推進するエンジンとして、「行政経営」、「公民連携・若者女性活躍」、「デジタルまちづくり」を掲げました。

新総合計画に掲げた小田原市の将来都市像「世界が憧れるまち“小田原”」の実現に向けて、これからも全力で市政の発展に力を注いでまいります。



お友達 & チャンネル登録
お願いします!

守屋てるひこ事務所
Printed in Japan
株式会社コバヤシ

4 コロナ対応

1 事業者支援

- 収入減少への支援 4,332件 総額 8億 2,379万円
- おだわら梅丸商品券 3回実施 総額 21億 8,800万円
- 観光ウォレット 総額 1億 3,000万円

2 生活支援

- 給食費 3か月分の支給 総額 1億 8,000万円
- おだわらっこ応援券 18歳以下ひとり1万円 総額 2億 8,000万円

3 地域医療

- コロナ専門病棟の設置
- 国から市立病院の財源確保 令和2年度 35億 6,885万 8,000円
- 県西地域初の宿泊療養施設の設置
- 自宅療養者支援・食料品等支援 総額 975万円
- 発熱者診療支援のため、独自に抗原検査キットを調達し医療機関へ緊急配布

7 デジタル化によるまちづくり

- スーパーシティへの挑戦
- 小田原市デジタルイノベーション協議会(D+ディープラス)の設置
- AI・RPAの活用による住民異動手続きのスマート化
- おだわらイノベーションラボの開設
- ワイヤレスセンサー等を用いた住民参加型の警戒・避難システム導入

ゼロカーボン・デジタルタウン (イメージ)

10 経済・環境

4 久野 JT 跡地開発

イオンタウン 2024年春オープン

1 城山多古線のトンネル 2025年開通予定

2 エネルギーマネジメント

- ゼロカーボンへの取組
- EVカーシェアリングの実績

3 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 (重点対策加速化事業)

総額 14億 9,850万円獲得 (5年間)

5 暮らしの充実

1 福祉

- 共生社会推進本部の設置 誰もが、その人らしく暮らせるまち
- 在宅高齢者の移動手段の確保、福祉タクシー利用助成
- おだわら成年後見制度利用促進指針を策定
- おだわら障がい者総合相談支援センター「クローバー」に加え基幹相談支援センターを設置
- 母子・父子・寡婦支援
- フードバンクの支援

2 スポーツ施設の再整備を検討

小田原アリーナ 御幸の浜プール 酒匂川スポーツ広場 小田原球場

3 地域生活

- ドッグランの試行(上府中公園)
- オレオレ詐欺対策 迷惑電話防止電話機の補助
- 魅力ある公園づくり

高田浄水場再整備事業を推進

8 医療

小田原市立病院整備

2026年春オープン

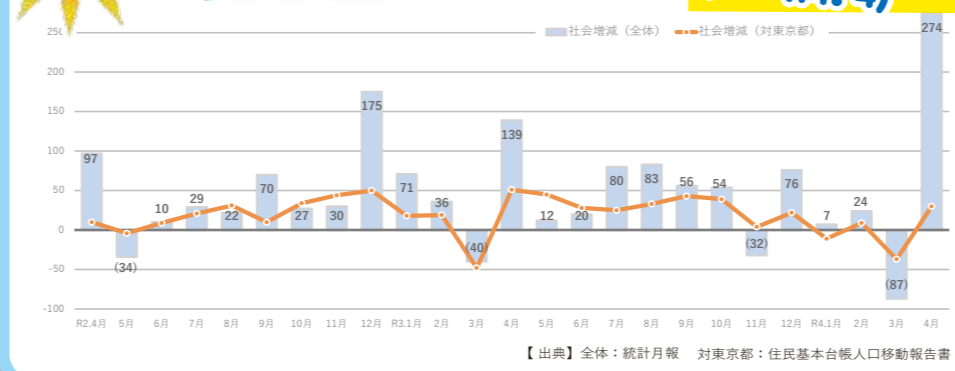
コスト削減 35億円削減 工期短縮 10ヵ月時短

II 小田原モデルの効果 II

医療品質向上 地域経済循環 経済効果60億円

県道側ファサード 1階ガレリア

11 移住者



6 教育と子育て

1 教育

- 市内小中学生ひとり1台のタブレット端末の配布
- Wi-Fiの無料貸し出し
- 1クラス35人学級の実現 (令和6年度完全実施予定)
- ステップアップ調査の実施 (学習状況調査)
- こども園の整備検討(橘地域)
- 水泳授業に民間スイミングスクールを活用
- 三の丸小学校芝生の校庭をつくる
- 給食調理場にエアコン設置 (令和4年度 久野・千代小学校)
- 市内通学路の安全点検を実施 39箇所を改修

2 子育て

- おだびよ子育て支援センターを利便性の良いミナカ小田原へ移転
- 子ども食堂の支援

おだわら子ども若者教育支援センター はーもにい 妊娠から39歳まで切れ目ない支援

9 文化

1 小田原駅東口図書館

2 史跡小田原城跡保存活用

3 御用米曲輪 北東土塁整備

4 小田原市デジタルミュージアム創設予定(2022年度)

12 災害対応

1 小田原市被災者生活再建支援制度

7月の大雨で被災した方への支援対策制度 国や県の支援対象にならない場合に、被災者の生活を支援する。最大で全壊 300万円。

2 農地復旧事業 小田原初

40万円以上の場合には国庫補助の対象となるため、事業費の3分の2(上限26,6万円)を補助。

全てをお見せできず残念...
ほんの一部ですがご覧ください!